



近藤じゅん子通信 Vol.14

区議会公明党が新型コロナウイルス対策として「緊急要望」を提出!!

高齢者への情報端末の貸与・購入助成を提案!
区独自のテナント賃料助成も要望!

第2回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和2年6月4日(主意)



区議会公明党が、長谷部区長に新型コロナウイルスにおける区独自の支援策を7項目にわたり「緊急要望」として提案。(令和2年5月18日)

新型コロナウイルス感染症対策

「特別定額給付金」の振込み状況について

質問 緊急要望でも提案しましたが、まず、「特別定額給付金」について伺います。

現在までオンライン申請も含め何世帯への振り込みが終了したのかを伺います。

答弁 (区長) 5月末現在で10544世帯の方々へ給付金の振込み手続きを終えています。

今後、迅速かつ誤支給のないよう取り組んでまいります。

避難所のガイドライン策定について

質問 首都直下型地震や、豪雨などが懸念される時期でもありません。

消毒液、手袋、マスクなどの公衆衛生上の備品の十分な確保と共に、新型コロナウイルス等の感染症対策を視野に入れた避難所の新しいルール作り。そして各避難所運営協議会のもと町会単位の自主防へのガイドラインの策定が必要と考えます。

答弁 (区長) 避難所での感染予防対策を早急に取りまとめて避難所運営マニュアルを反映させ、自主防災組織を中心とした避難所運営委員会に周知し、訓練も実施するよう努めます。

また、マスク、消毒液の備蓄に加え、避難所での感染予防を万全なものとするため、非接触型体温計やフェイスシールド等の新たな物品の備蓄についても早急に進めてまいります。



支援策の無料相談窓口について

質問 様々な支援策が打ち出されていますが、煩雑な申請を一人で行うのは大変です。

申請等で悩んでいる方へ着実に支援が繋がるよう、フリーランスも含めた個人事業主向けに専門的なアドバイスを受けられる無料相談の場の提供、また、専門家による申請書の作成にかかわる費用の助成を行ってはいかがでしょうか。

(区長) 中小企業診断士がサポートできる、手続きに関する相談への対応や、多岐にわたる課題や制度への対応をサポートしていくため、専門家の活用による相談体制の充実についても検討し、中小企業支援の強化を図ってまいります。

区独自のテナント賃料助成について

質問 本区は特に賃料が高い地域でもあります。事業の継続のために、めに、元々固定費が高く、粗利の低い店舗や飲食店など、国の支援が届きにくいテナント等に、渋谷区独自の賃料助成を考えるとと思っています。

答弁 (区長) 区としては、国の支援による効果を注視しつつ、引き続き、迅速に融資のニーズに対応しながら、広く区内産業を支援していくため、クラウドファンディングなどの活用も含め、独自の効果的な支援を実施

アーティスト等への支援について

してまいります。

質問 文化と芸術を発信してきた渋谷区には、音楽や演劇、伝統芸能等、芸術に携わる人々が多く住んでおりますが、今まさに渋谷区の芸術文化が崩壊する危機にあります。芸術の火を消さないためにアーティスト等への経済支援と、ライオンキューブシブヤ、文化総合センター大和田の2つホールの施設利用料支援を目指し、民間による文化芸術復興を、目的としたクラウドファンディングを立ち上げる支援をすべきと考えます。

答弁 (区長) 区では現在、クラウドファンディング事業者とエンタテイメント産業や文化振興等の支援の検討を進めています。出来るだけ多くの方にご支援いただけるような支援スキームを立ち上げ、議員ご提案の渋谷区独自モデルの導入を実現したいと思っています。

福祉・健康

介護事業所等への支援について

質問 区内福祉施設においてクラスターが発生しました。今後の第2波、3波に備えた、当該施設等の防止策はどうされますか。

また、新型コロナウイルスの影響により経営状態が悪化した介

護事業所及び障害福祉サービス等事業所の家賃の助成を提案します。

答弁（区長）感染拡大防止の観点から検証を行い、第2波に備えていくとともに、感染予防の徹底、必要な物資の確保に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症によつて経営上の影響を受ける介護サービス事業所および障がい福祉サービス等事業所への支援については、特例制度や各種助成制度の活用について周知を図りながら、国や都の支援策の内容を見極めたうえで総合的に検討してまいります。

障がい者支援の拡充について

質問 新型コロナウイルスの影響により、自宅等で生活を余儀なくされている障がい者も多くいらっしゃいます。

その障がい者に対して、生活状況の、より積極的な把握を努め、必要となる訪問系サービス等の支援へと具体的につながることが大事です。

そのための相談支援の拡充がいよいよ重要と考えます。

答弁（区長）個別に支援の状況確認を行っています。新型コロナウイルスの影響を踏まえ、各利用者の状況に応じた適切なサービスの提供につながるよう対応し、相談支援の充実が図られるよう取り組んでまいります。

情報弱者支援の取り組みについて

質問 情報社会の中での高齢者の社会参加においては、スマホ、タブレットなどによる情報収集は大変重要になります。

特に災害時に情報弱者となりがちな高齢者に対して電子情報は必要です。

新たな高齢者の情報端末の貸与や購入助成を提案します。

答弁（区長）まずは、デジタル情報ツールを使える高齢者を増やす取り組み等、できることから着手してまいります。

併せて、高齢者への情報端末の貸与や購入助成についても、検討を進めてまいります。



健康情報の一元化について

質問 人は生まれてから高齢者になるまで、様々な検診や医療を受け、それに関わるデータが蓄積されていきます。これらの貴重なデータを一元的にデジタル化し、全世代の区民の健康な生活をサポートしていく健康のプラットフォームを構築していくことは

重要だと考えます。

PHR（パーソナル・ヘルス・レコード）を導入し、区民の健康情報を一元化した電子版健康手帳「シブヤ健康ノート」（シブケン）の創設を提案します。

答弁（区長）区が保有する個人の健康情報は、特定健診や、がん検診など区民のうちの一部の受診者の方のものに限られており、広く区民の方の健康情報を保有しているとは言えません。

本人が管理する「電子版健康手帳」に、区や区以外が保有する健康情報データを移行させることが可能であるのか、技術的なことも含めて今後の研究課題とさせていただきます。

子育て・教育

渋谷区子育てネウボラについて

質問 緊急事態の中で、電話等による、きめ細やかなサポートも行われ感謝申し上げます。

今回の緊急事態時の対応で、見えてきた課題を検証し、相談窓口の対応、また、アウトリーチによる産前産後のサポート等、渋谷区子育てネウボラの切れ目のないサポートについて、今後、どのように進めていけるのか、ご所見を伺います。

答弁（区長）現在は、感染予防策を徹底した上で、妊婦全員面接を再開したほか、訪問による新

生児と産後の母親のサポートや、乳児全戸訪問等、保健師による訪問指導も実施しています。

さらに、緊急事態宣言期間にやむを得ず電話面接となった方で、ご希望のある方には再度面談や訪問を行い、妊娠・出産・子育てへの悩みや、新型コロナウイルス感染症に関する不安などを解消できるよう、丁寧な支援を行ってまいります。

児童・生徒の心のケアについて

質問 長期の休校による不安から不登校などになる児童・生徒のことが心配です。

また、我が会派は、早くからネットリテラシー教育の推進を提案してきましたが、現下の状況も踏まえ情報モラル教育について、ご所見を伺います。

答弁（教育長）学校再開にあつたつては、担任等が児童生徒一人一人と面談を実施し、児童生徒の心身の状況を把握するよう指導した所です。

また、SNS上で被害を受けている児童生徒の状況把握については、面談やアンケート調査を通して確認し、迅速かつ丁寧に対応してまいります。



ひとり一人を大切に、皆様の声を区政に活かします。

—— 区政に対するご要望、お困りごと、お気軽にご相談ください ——

渋谷区議会議員 近藤じゅん子

- 福祉保健委員会 委員長
- 自治権確立特別委員会

渋谷区議会公明党控室
TEL. 03-3463-1036 FAX. 03-5458-4962
携帯 090-2221-7507
近藤じゅん子のブログ
<http://ameblo.jp/kondo-junkon>



ホームページ



アメブロ



Twitter



Facebook